

泉州南消防組合地球温暖化対策実行計画における実施状況報告 (令和元年度分)

1. 計画の概要

泉州南消防組合地球温暖化対策実行計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、令和2年4月に策定しました。

この計画は、当消防組合が使用している各種エネルギーの消費量から算定したCO₂排出量の削減について、令和12年度(2030年度)までに、基準値(平成30年度(2018年度))と比較して18.3%削減することを目標としたものです。

2. 令和元年度(2019年度)のエネルギー使用量及びCO₂排出量

下記のとおり、令和元年度(2019年度)のCO₂排出量(全資源対象)は712.9tでした。基準値869.1tに対して82.0%で18.0%(156.2t)の削減となりました。

また、削減対象のCO₂排出量は431.0tでした。基準値589.0tに対して73.2%で26.8%(158.0t)の削減となりました。

	電気	LPG	都市ガス	ガソリン	軽油	灯油	合計	割合	削減対象合計	削減対象合計 対前年比
泉佐野消防署	151.9 t		29.3 t	36.7 t	18 t		235.9 t	33.1%	181.2 t	70.9%
泉南消防署	33 t	0.4 t		21.9 t	11.3 t	2.6	69.2 t	9.7%	36.0 t	75.5%
阪南消防署	36.3 t	3.0 t		18.4 t	6.4 t		64.1 t	9.0%	39.3 t	80.0%
熊取消防署	24.3 t	2.8 t		23.5 t	8.5 t		59.1 t	8.3%	27.1 t	70.4%
岬消防署	42.3 t	5.4 t		17.1 t	6 t		70.8 t	9.9%	47.7 t	82.2%
日根野分署	8.9 t			14.9 t	4.9 t		28.7 t	4.1%	8.9 t	30.6%
南西分署	34.1 t		3.1 t	26.6 t	6.2 t		70.0 t	9.8%	37.2 t	89.2%
上瓦屋出張所	10.2 t	1.5 t		16.4 t	3.6 t		31.7 t	4.4%	11.7 t	70.1%
空港出張所	23.8 t		0.5 t	8.2 t	2.3 t		34.8 t	4.9%	24.3 t	81.3%
田尻出張所	9.1 t		0.7 t	15.1 t			24.9 t	3.5%	9.8 t	76.6%
砂川出張所	6.5 t	1.3 t		14.9 t	1 t		23.7 t	3.3%	7.8 t	78.0%
合計	380.4 t	14.4 t	33.6 t	213.7 t	68.2 t	2.6	712.9 t	100%	431.0 t	73.2%
割合	53.4%	2.0%	4.7%	29.9%	9.6%	0.4%	100%			
対基準値比	72.7%	93.5%	71.3%	103.4%	92.9%	89.7%	82.0%			

※実行計画 4.(2)に基づき、ガソリン及び軽油については削減対象外とする。

3. 考察

(1) 排出量削減の要因

令和元年度（2019年度）は、すべての庁舎において基準値よりも排出量を減少させることができました。これは職員が一丸となり、業務に支障のない範囲で削減に向けた取り組みを継続して実施したことが要因だと考えます。

また、早々に基準値比18.3%削減という目標を達成することができたことについては、実行計画4.(5)②中の注釈2にも記載のとおり、平成30年（2018年）9月に旧市場消防署が廃止され、その機能が日根野分署に移行されましたが、平成30年度（2018年度）中の日根野分署の排出量には旧市場消防署での排出量（4月から移行までの分）も含まれおり、移行により庁舎規模が大きく縮小されたことと併せて、庁舎内の設備の省エネ化等により、日根野分署における排出量が極端に減少したことが大きな要因と考えます。

(2) 今後の課題

この度の目標達成の背景には、職員の取り組みの成果もありますが、先述のとおり、旧市場消防署の廃止も大きな要因であることは明らかです。つきましては、現状の事業規模をもとに、基準値及び目標を見直した実行計画とする必要があります。

また、今後も実行計画4.(3)に記載されている削減目標達成のための取り組みを継続して実行し、環境にも配慮した事業を実施していきます。